

外組八十七組之内

才四

玉橋香	異三徳香	雞波津香	烟雪香	雪見香
歌集香	替三三香	三徳香	難波香	水鳥香

7多9
1338
99

明 移 9
1338
卷 39



外組香八十七組之内才四

雪見香

水鳥香

煙雪香

難波香

難波津香

三德香

異三德香

替一二三香

玉橋香

歌集香

王酥香

烟集香

異三對香

替一二三香

蝶翅彩香

三對香

獸室香

蝶翅香

室長香

水鳥香

收照香八寸照之內六四

乘柳香 雲見香 白虎香 魚尾香

香五種 香名各一 柳香 牛乳香 香名

蘇州香 山香 了山香 一包 佛內一包 試香

同香 一重香 下 記右同 佛內香 香名

月及 浦香 下 香名 右同 佛內香 香名

原

右回

重

二色徳成

右試香法一山香一二三四五の十包

并せし煙を試合二種つる名

乗成其竹山片為る直

又撮半ハ時々々集年江城

名目五つ書合 札

名目あつて之を抄居ニツ

開書一各一にて記録

同及の 本香ハ山里浦系

汲多... 本... 浦...

山々... 峯... 山... 寺

山浦... 谷... 山原... 寺

山... 花... 里山... 城

軍... 市... 里浦... 垣庭

分里京... 津... 里... 治

浦... 嶋... 浦里... 港

浦... 清... 浦原... 海

浦... 浪... 系山... 塚

系里... 田... 系浦... 田

系の
野
系
砂

雲の
雲
雲
烟

雲浦の
霧
雲系
夜

雲の
浜
浦
城

左の
二
一
片

あ
ら
に
の
あ
は
た

雪見香

里
浦
山
原
子

谷
城
浪
海
窟
山
西

卷之九 雜錄 城隍廟 全

空山月 朝日 出香 名采

江深見 唯多 香

竹... 山... 水... 香...

水為香

香三粒

竹... 山... 水... 香...

竹... 山... 水... 香...

竹... 山... 水... 香...

水鳥香

香三種

鴨子一包內一包試

鷓鴣一包內一包試

鷓鴣一包內一包試

名

香

名

名

右試紙より本香一包お中七内一包取
信紙より試紙全右香紙因左の歌より
書付しきるなり歌たのむとてしる

香三鴨とやう

さあ、これ水はさる世少
鴨のあつたよるは相やうと

記保入

香紙香紙香紙

信紙より試紙全右香紙因左の歌より
書付しきるなり歌たのむとてしる

信紙の面よりうん今たのむ
信紙の面よりうん今たのむ

於成... 月十一日

水香

...

名 水香の味...

名 水香の味...

月日 出香 名集

記録... 香...

真...

...

...

...

水多木之記
...

...

烟香

香三種

烟香

香

香

右試香三種は、燭燻十包、打交内二
包、後各香二包入交合十包する
心二燈、
札、
札、

燭燻

燭の丸 二

燻く、
燻く、

燻の丸 二

燻く、
燻く、
燻の丸 一

相燻く、
相燻の丸 四

燻燻く、
燻燻の丸 四

燻燻く、
燻燻の丸 一

燻燻く、
燻燻の丸 一

札、右、通、二人、和、
十五、扱、了、用、と、へ、し

右記録千五百合たの

煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記
煙香之記

札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記
札 炭 煙 香 之 記

札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記
札 煙 香 之 記

月 日 出 香 名 衆

去 河 之 光 子 准 主 命

右記... 香...

左記... 香...

此... 香...

雜波香

香五種...

右記... 香...

左記... 香...

右記... 香...

四

右同

五

右同

右試如うし出香五色あり交煙如う試

合々右来紙の書付如うあり名目あり

たのこ

一と梅書如う試如う梅書如う

二と梅書如う試如う梅書如う

五と月と書如う試如う

記原本香の如う一二三と書如う

右の右目と書如う如う記原本香の如う

たのま

雅波香之記

一三五四三

名 梅 栴 月 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

名 月 栴 梅 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

月日

出香名栴

記録先子准も多

一、香
二、香
三、香
四、香
五、香
六、香
七、香
八、香
九、香
十、香
十一、香
十二、香
十三、香
十四、香
十五、香
十六、香
十七、香
十八、香
十九、香
二十、香

一、香
二、香
三、香
四、香
五、香
六、香
七、香
八、香
九、香
十、香
十一、香
十二、香
十三、香
十四、香
十五、香
十六、香
十七、香
十八、香
十九、香
二十、香

春もて 二色は徳を成

右依如てし出香五色は支炬出を多し
試合礼お辱り 春南の二色は支炬
すも四色は支炬の中は支炬の句を
一の香とす南の人と雖は徳を成

二とすもろは冬は支炬の句を
人々も春とすも春南の句を
は花も書春二色は支炬の句を
是すもはははは二色は支炬の句を
是すも何句も何句も書も今の人

皆歌一首書年一歌たのこせ

雅皮律香記
かきとくをいふとさきさか
かきとくをいふとさきさか

やまの人、埋本、書年、ちりぬ

ふり可老、いふとさきさか

いふとさきさか

雅皮律香記

三一ウニツ

櫃 三一ウニツ
いふとさきさか

櫃 三一ウニツ
いふとさきさか

月日 出香 名来

記録、いふとさきさか

出納式...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右試路千出香十二包お交内二包除き
十包桂生千試各中半日但一柱し
南斗とさかん札の表裏のこまと裏智
四枚在四枚二回雪回枚をくふ十二枚了り
又一枚札をよき多しは係思さるる高

記の面千可考たのこま

香三柱

三徳香之記智仁勇

仁智智勇仁仁智勇智

札 智智仁仁勇 五

札 仁智智勇仁仁智勇智 全

月日

出香石乘

斗りく先子三市人...

...

三野香...

...

...

異三德香

香三種

福... 二包後内一包試

...

...

右試法... 本香三色折生... 炷出... 試

合七右來... 書... 記... 如

蘇... 記... 如

香... 三... 德香... 記

壽... 福... 限

名... 福... 壽... 限

一

名... 壽... 福... 限

三

香... 七... 月... 日

出香名乘

... 是... 之... 人... 之... 年... 十... 五... 德... 成

古法... 本合... 炷... 法

今世... 香... 法

...

吳三德香丸

出香... 來

...

一三

或五六替一二三香

香七種

何香... 一... 二... 三... 德... 法

右同... 法

右同... 法

四

右同

五

二色俵内一色試

六

右同

香ナ

右同

右五六七の香試ニ種次ニ出香七包

打交内ニ四色取煙ニ一試合

五六七の香有ニ一試合

何音月ニ有ニ名乗候書付物

名乗候俵紙ニ一ニ三四ニ書付

の文ニ一ニ書付

此香用平像之人... 乃此也

中是烟烟... 乃此也

山州之... 乃此也

香一二三香
油香

香一二三梅
吐

玉橋香

香四種

天浮橋

雲樣

露玉橋

四下白間橋より 二色徳武

右試飲うへ 出香七色折文 煙出き 試ふ合
れおる 一時直うへ 名乗紙うへ 昔今 菊
とま 菊 露の玉 橋 二枝 菊 後の二枝
より 二色 組 以上 三色 うへ 始り 後

一柱の南より 五うへ 白間橋より 一人す
三色 入り 何人 二色 三つ 外香
皆 一色 三つ 天浮橋より 開闢の始り
一柱より 入りの 材橋より 二枝 露の 出橋 七
日生合の 橋より 二柱 合より 陰より 白間橋

いささか... 試香... 春...
出香七包... 玉橋香...
題子... 為記... 丙午...

天修徳
雲材
玉橋
台問橋
雲台浮玉雲玉台

札
製研浮玉雲玉台
十一全

札
占雲玉浮雲玉台
三

月日
出香一名衆

斗... 先... 年...
右回り

試香八種

古今

後撰

拾遺

右同

古今

後撰

拾遺

右同

古今

後撰

拾遺

右同

古今

後撰

拾遺

右同

古今

後撰

拾遺

右同

古今

後撰

拾遺

右同

古今

木

玉

十二全

木

玉

十二全

古今

後撰

拾遺

右同

古今

後撰

拾遺

右同

後拾遺にて

右同り

金葉にて

右同り

洞花にて

右同り

香人千載にて

右同り

新古今にて

右同り

右試紙より出香ハ包打支内より三包ハ狂歌

試紙合ヤ名乗紙ヲ書付知テ不残字高クテ

人の名ト記の通字書ハ代集の巻紙の歌書

多ク又奥法ト一人ナシト其余法一トナリ

歌本の

古今

年の内は春の来たるは
きひもやいそいで

後撰

春の来たるは衣あはれ
春の来たるは衣あはれ

拾遺

春の来たるは衣あはれ
山崎の来たるは衣あはれ
後拾遺

金禁

春の来たるは衣あはれ
山川の
岩間の来たるは衣あはれ

詞衣

氷わし 志のふりかき 打とけけ
さくふりまき 春のそと

千載

春のつり 河のほとり くらげ じん ぼせの
うらやま しのぶ ちをきり

新古今

三ツカ 野々 山も 庭へ ちり ぼせの
あけ けしき 春の ちり ぼせの
あけの ちり ぼせの

支那 後撰 拾遺 全葉 詞花 千載 新古今
ちり ぼせの ちり ぼせの

古今 拾遺 千載 全

古今 拾遺 千載 全

各

古今拾遺

後拾遺

全

各

古今拾遺

刊載

全

名名

年の内は春の芽をうづりてはやく去るふりてはゆき
春の芽をうづりてはやく去るふりてはゆき
春の芽をうづりてはやく去るふりてはゆき

月日

出香名集

記録之准を

長 不 十 秋 似 拾 遺

名 胡 令 松 遠 山 載

名 名

全

山

五 州 之 圖 畫

出 香 名 來

五州之圖畫... 卷之十... 出香名來

